

海外留学 先輩の声



留学先(国名):

インペリアル・カレッジ・ロンドン (イギリス)

準備(留学前)で1番大変だったことは？	留学中のお気に入りの写真を貼って下さい！
準備で一番大変だったのは、普段の大学生活と渡航の準備を両立させることです。渡航前には事前準備の一環である英語の授業や、向こうの大学に提出する資料作成、お世話になる研究室とのやりとり、そして、これから行う研究の背景知識を知るために論文を読んだり、やる事がてんこ盛りでした。その上部活動も週3回でやっており、その間も大学の方での臨床医学の座学は続いていたために、特に目の前のことに全て全力投球してしまう性格である私にとっては全てのバランスをとることは大変な時もありました。しかしその分タイムマネジメントも以前よりも上手になり、効率よく物事をこなすことを学べたと感じます。	
今回の留学中、1番印象に残っていることは？	
滞在中、研究室で様々な研究手技を学んだり、研究に対しての姿勢を学び学業的に成長できたことはもちろんですが、生活面で印象に残っていることを少し紹介したいと思います。 滞在中の5ヶ月はインペリアルカレッジの寮で1年生と一緒に生活することになります。そこで感じたのは、大学1年生なのに個々が自分のやりたいことや自分の意見をはっきり持っており、精神的に大人であったことです。寮のみんなでパーティーをしていても、さっきまで思いっきり盛り上がっていた人が急に、勉強したいから部屋に帰る、と言い出す。そして、周りも、じゃあ頑張って、と止めない。欧米らしく盛り上がっているにも関わらず、その中でも自分を忘れず、個々を尊重するという空気が全体的にあったと感じます。自分も、周りに流されたり周囲を気にしすぎるだけではなく、周りとの協調性は保ちつつ、やりたいことはやれるうちにやったり、意思表示をしていくことが重要だということを強く思ったことが非常に印象的です。	
留学を終えて、後輩達に伝えたいことは？	
在学中に海外に5ヶ月間も滞在できるというのは本当に貴重な機会です。それだけでも十分滅多にないことですが、その上に、世界ランクで常に1桁台という優秀な大学の研究室で研究できるというのは、これからの医療者としてのキャリアにとっても非常に役に立ちます。海外のトップクラスの人の研究の仕方、研究に対する考え方やスタンス、ワークライフバランス等、新鮮なことをたくさん目の当たりにします。海外留学は、勉強面・社会面・生活面・精神面など、様々な側面で成長できるチャンスです。そのようなチャンスが目の前に現れた時に、それをつかむかどうかは自分次第です。学生時代にはこのような留学だけではなく、大学でしか経験できないイベントがたくさんあります。ぜひ常に広い視野を持って、色々なことに興味を持ち、かけがえのない、充実した学生生活を自分で創り出してください。	曇天で有名なロンドンで撮れた、素敵一枚。雲ひとつない美しい青空です。インペリアルカレッジのキャンパスから徒歩10分程のところにある、Royal Family所有のKensington Palaceの庭の写真です。

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。
国際交流課 学生派遣係 一同